



放課後英語指導教材

指導台本

Lesson2/ Target sentences

How many... / 計算をしよう

Lesson2-4

所要時間の目安：5分～8分

How many... / 計算をしよう

高学年向け

●このアクティビティの目的

計算を通して自由に数字をあやつることができる。

●使用する教材・教具

・数字カード

●指導のしかた

※T= 先生 Ss= 子どもたち

(1) Tは “ One plus two equals? ” と計算を言いながら黒板に数式を書きます。

(2) Ss から “ Three! ” と答えが出たら、

Tは “ That’s right. The answer is three. ” と言いながら数字カードを見せて答えを確認します。

(3) Tは、Ss が慣れてきたら暗算で計算を言います。

(4) 答えを早く言いたくて日本語で回答しがちな場合は、日本語は1点、英語なら2点などルールを設けて英語で答えるように促しましょう。

●このアクティビティができるタイミング

履修の数字を完全に言えるようになったらできるゲームです。

●指導のポイント・留意点

ここでは1 - 12 を扱っているので、答えが12に収まるように行っていますが、クラスの状況に応じて自由に数字を加減してください。

慣れてきたら、Ss が計算問題を作ることに挑戦しても良いでしょう。